

男女共同参画地域講座

Chikikouza
吾平
輝北

人と人の心をつなぐコミュニケーション講座

- ・吾平地区：平成20年1月20日(日) 10:00 ~ 11:30 コミュニティセンター吾平振興会館
- ・輝北地区：平成20年2月3日(日) 10:00 ~ 11:30 輝北総合支所

講師 辰身信子氏

NPO法人 人間関係アプローチ宮崎きらきら 代表
NPO法人 キャリア・アプローチCAM宮崎 代表

演題 「あなたの想いが伝わっていますか？」
～ 豊かな関係作りはコミュニケーションから ～



講師の辰身信子さんは、自分の親子関係のあり方に「揺れ」と「つまづき」を感じ、人間関係講座に触れたのをきっかけに、心理学の道に進まれました。「人間関係を改善する技術を一人一人が身につけることができれば、どんなに豊かな人生が送れるだろう、どんなに豊かな地域が広がるだろう」という思いで活動されています。

人とつながるために

人間関係づくりは、生まれてから死ぬまで逃れようがない。嫌だと思っても、人は生活する中で人と関わらなければならないし、必ず誰かの世話になる。人が幸せに思うのは、お金や名誉ではない。名誉や財産がなくても、誰かとつながっている実感があれば、人は幸せを感じることができる。



< 吾平地域講座 >

いい人間関係をつくるには

* 自分を知らろう

豊かに生きていくためには、人との関係において、自分自身の思いを知っていることが大切。自分自身をわかっていないと人を理解することはできない。

* 自己表現

夫や子どもであっても他者であり、黙っていても、気持ちを理解してもらうことはできない。

自分の気持ちや欲求を正直に表現する必要がある。

- ・自分の気持ちを伝える時は、自分を主語にして伝える。(私は・・・したいとか、私は・・・が欲しい等)
- ・相手の言った言葉に確認語尾を付けて繰り返す。(相手が「 が欲しい」と言ったら、あなたは「 が欲しいのね」と返す) そうすると相手は、自分を理解してくれたと安心する。

* 聴く力

相手の話を聴く(聞くではなく聴く)

= 耳を傾けて聴く、しっかり聴く

人の話が聴けると相手も自分の話を聴いてくれるようになる。何でも安心して話ができ、そしてしっかりと聴いてくれる人とは、良い関係をつくることができる。

* 価値観

価値観(好み、個性、考え方等)は個々で違いがある。多様な価値観を理解し、お互いの価値観が違うことを認め合うことが大切である。

家庭や地域で豊かな人間関係をつくるには、まず自分自身をよく知り、しっかり自分の想いを伝えること、そして相手の話をよく聴き、しっかり受け止めること。そのためのコミュニケーション術、言葉のキャッチボールを上手にする方法について、参加者同志が実践しながら学ぶ楽しい講座でした。吾平地区も輝北地区も広報活動等、地域のリーダーのご協力により、会場一杯の参加者でした。



< 輝北地域講座 >



子育ての悩み・介護の悩み みんなで話してみませんか？

・串良地区：平成20年1月27日(日) 10:00 ~ 11:30 串良公民館

串良地区の講座は、有志による実行委員の方々に、企画・広報・当日の運営までを手がけていただきました。「子育て」と「介護」という2つのテーマについての体験発表の後、会場の出席者も意見を出し合うシンポジウム形式で開催しました。

子育てについて…

古里なおみさんから子どもの個性を伸ばすユニークな子育てが紹介されました。会場からも、「自分は古里さんとは正反対の育て方をしている。欲しいものをなんでも与えるのではなく、我慢することを教えるのは大事なこと。子育てにこれが正しいというものはないかもしれないが、古里さんのような育て方もあるんだと、とても参考になった」などの意見がありました。



介護について…

半身麻痺の妻を16年間自宅で介護された、森園愛吉さんの心温まる体験発表がありました。「自宅で16年間看っていた妻が認知症を発症し、自分も高齢のため(現在86歳)心身ともに限界を感じ、4年前にやむなく施設をお願いした」その時の切ない心情を「愛する妻の面倒を他人様をお願いしなければならないなんて」と切々と語られました。「森園さんの奥様への愛情の深さに感動した」「自分の夫は、家事は何もできない。自分の方が先に病気になるかも知れないので、夫にも少しずつ家事を教えていかなければと思った」などの意見が出されました。

次に、癌で夫を亡くされた古城紀さんが、娘の大浦ゆかりさんと体験発表をされました。とても元気だった夫が突然、癌で余命幾ばくの宣告をされたこと、その時の絶望的な心境やその後の闘病生活、看取るまでを涙ながらに語られ、地域の方や友人の支えが大きな力になったと話されました。

また、県外で介護関係の仕事をされていた娘さんは、仕事を辞めて帰省し、お父さんの看病をされたこと、仕事を続けながら看護をすることの難しさ、看護休暇制度のあり方などを話されました。

介護のアドバイザーとして出席された「NPO法人なごみの森福祉会」の森元美隆さんからは、参加者からの介護制度等への質問に対する、アドバイスや、病人の目線にたった介護の必要性などの話がありました。

実行委員会のメンバー森山たか子さんのコーディネートで、会場の参加者からも次々と意見や質問が出され、会場が一体となり、とても充実した地域講座になりました。

シンポジウム形式は、串良では初めての試みでしたが、実行委員の熱い思いが実を結び、参加者からも「どの体験も感動した」「笑いあり、涙ありとても和やかな講座で参加して良かった」「子育ても介護もいろいろ考えさせられ、とても勉強になった」など大好評でした。



鹿屋市男女共同参画に関するReport 住民意識調査結果報告(第1回)

鹿屋市では、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、様々な施策を実施していますが、その指針となるべき「かのや男女共同参画プラン」を見直し、新しいプランの策定を予定しております。そこで、市民の皆様のご意見や実態を把握し、プラン見直しと今後の施策に反映させる重要な基礎資料とするため、住民意識調査を実施しました。

つきましては、この「参画News」でも、今後数回に分けて調査結果を報告いたします。

詳細は、男女共同参画推進室HPに掲載しております。
(<http://www.e-kanoya.net/htmbbox/danjyo/index.html>)

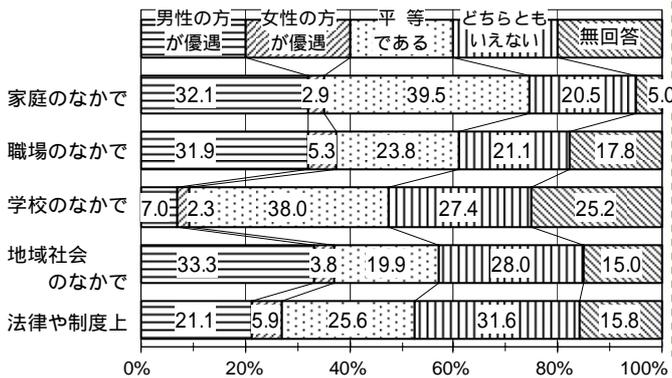
調査の概要

- ・調査対象 20歳以上の男女2,500人
(住民基本台帳に基づく層化無作為抽出)
- ・調査時期 9月3日～9月19日
- ・調査方法 郵送による配布・回収法
- ・有効回答数(n) 1,108人(回収率 44.3%)

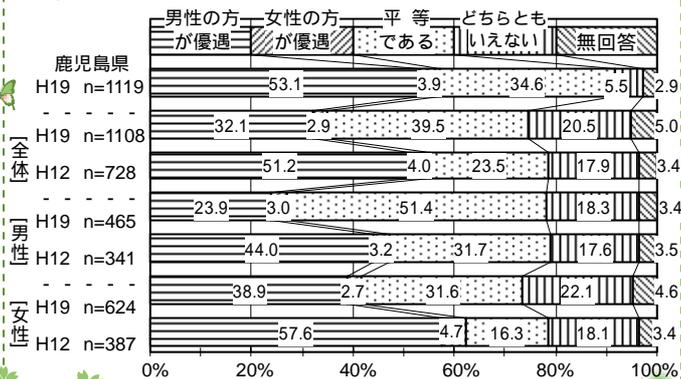
男女平等の意識について

家庭や職場など5分野で男女の地位が平等になっているかを聞いた結果について、5分野を比較した表と、それぞれの分野毎に鹿児島県の調査(平成19年4月)・鹿屋市の前回の調査(平成12年)・男女別を比較した表を掲載しました。

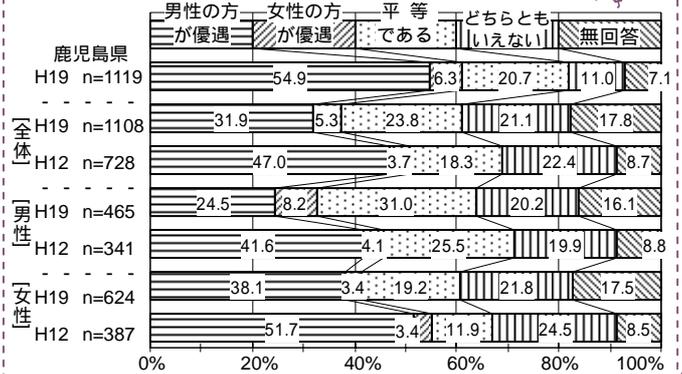
< 各分野の男女の地位の平等感(全体) > n = 1108



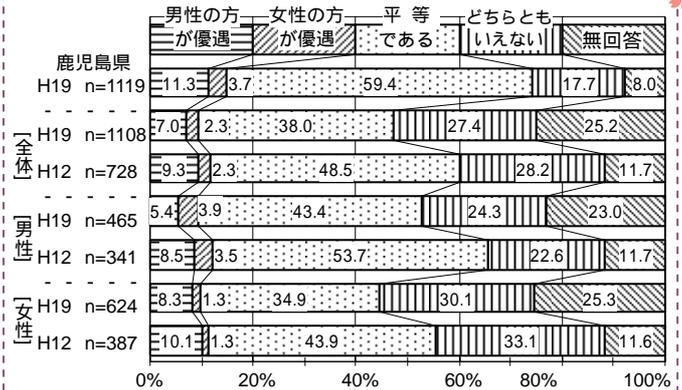
< 家庭のなかで >



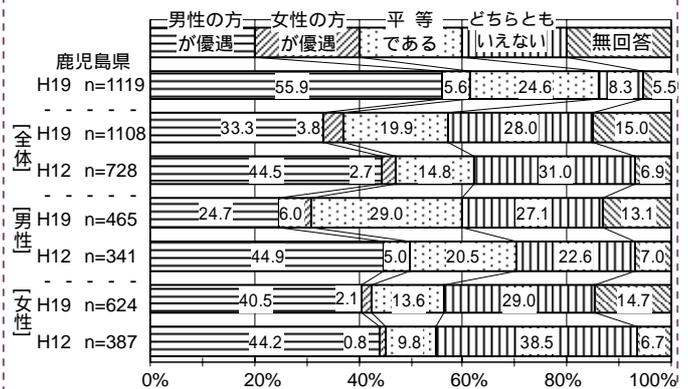
< 職場のなかで >



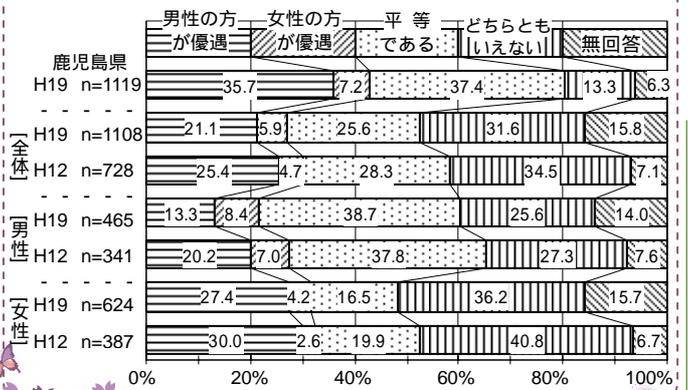
< 学校のなかで >



< 地域社会のなかで >



< 法律や制度上において >



《 問い合わせ先 》

〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号
TEL:(0994)31-1147
FAX:(0994)40-3003
市民活動推進課(男女共同参画推進室)
メールアドレス danjyo@e-kanoya.net